

日本切手のペンギンたち

コウテイペンギン と アデリーペンギン



Antarctica

ペンギンは1目1科の飛べない鳥類です。分類学では南極およびその周辺に生息しており、世界で18種(学説により19種とも)とされています。しかしながら南極大陸で繁殖するのは、その内の2種だけです。2023年現在、日本では8種類のペンギンが31種の切手として発行されています。今回、その中からこの南極大陸で繁殖する2種のペンギンの切手をまとめてみました。

コウテイペンギン



ペンギン1番切手

最大のペンギンで身長は1mを超えます。現在国内飼育施設は、アドベンチャーワールドと名古屋港水族館のみ。上胸の黄色と耳周辺の橙色が特長。難の姿も切手に多く描かれています。1957年発行の日本最初のペンギン切手に描かれました。











アデリーペンギン



中型のペンギンで顔と背中が黒く、目の周辺が白いのが特長。海遊館ほか国内4施設で見れます。昭和基地近くにも営巣地があるため、観測船と一緒に描かれた切手や写真が多く存在します。








ペンギンは学説により異なりますが、図鑑等では世界に19種のペンギンが生息しているとされています。その中から南極でのみ繁殖する2種のペンギンをまとめてみました。